

## 再評価結果（令和2年度事業継続箇所）

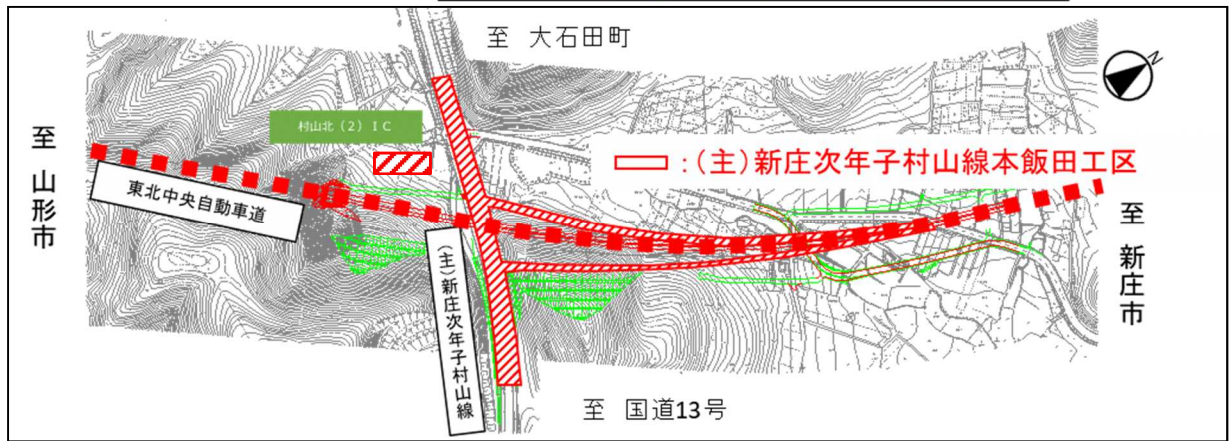
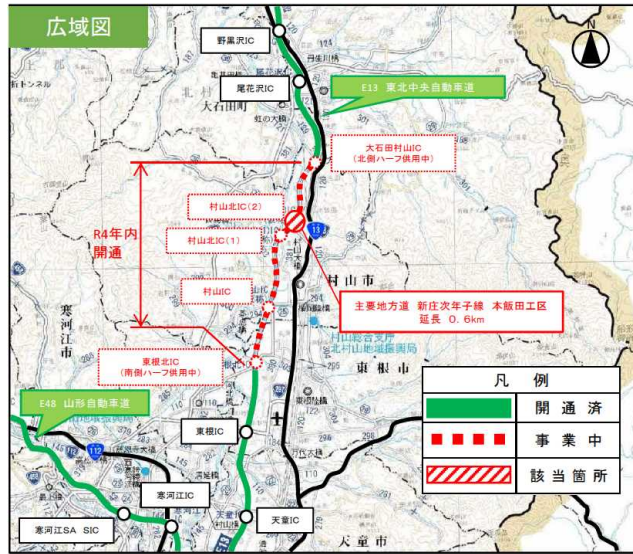
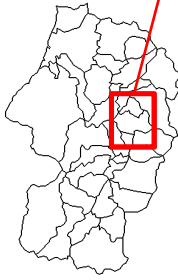
担当課：環境安全・防災課  
担当課長名：渡辺 学

事業名	高規格 I C アクセス 主要地方道新庄次年子村山線 村山北 I C 本飯田	事業区分	地方道	事業主体	山形県
起終点	自：山形県村山市本飯田 至：山形県村山市本飯田	延長	0.4 km		
事業概要					
<p>主要地方道新庄次年子村山線は東北北中央自動車道と村山市内を結ぶ路線であり、村山市内へのアクセス性向上、物流効率化、緊急搬送時間短縮、観光振興を目的とし、東北中央道に地域活性化 I C として村山北 I C を整備するとともに、村山北 I C と国道 13 号を結ぶアクセス道路として一体整備するものである。</p>					
H24年度事業化	都市計画決定なし	H24年度用地着手	H25年度工事着手		
全体事業費	5.8億円	事業進捗率	約70%	供用済延長	— km
計画交通量	2,300台/日				
費用対効果分析結果	B/C (事業全体)	総費用 (残事業)/(事業全体)	総便益 (残事業)/(事業全体)	基準年 平成28年	
	(残事業)	事業費：3.6/5.1億円 維持管理費：0.20/0.20億円	35/35億円 走行時間短縮便益：22/22億円 走行経費減少便益：9.8/9.8億円 交通事故減少便益：3.0/3.0億円		
感度分析の結果					
(事業全体) 交通量：B/C=5.9~7.2(交通量±10%)		(残事業) 交通量：B/C=8.2~10(交通量±10%)			
事業費：B/C=6.0~7.3(事業費±10%)		事業費：B/C=8.3~10(事業費±10%)			
事業期間：B/C=6.4~6.7(事業期間±20%)		事業期間：B/C=9.0~9.4(事業期間±20%)			
事業の効果等					
<p>① 工業製品の流通支援 村山北 IC 付近に位置する金谷工業団地から関東方面への流通を支援する。</p> <p>② 観光支援 村山北 IC 周辺にある「そば街道」等、観光地へのアクセス向上により観光客数の増加が期待される。</p>					
関係する地方公共団体等の意見					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ H22年3月：「第3次山形県総合発展計画」策定</li> <li>・ H24年3月：「やまがた県土未来図」推進指針改定</li> <li>・ H31年3月：「山形県道路中期計画」策定</li> <li>・ 上記計画に位置づけられた施策や方針に基づき取り組む事業として推進している。</li> </ul>					
事業評価監視委員会の意見					
事業継続を妥当と認める。					
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等					
令和2年2月に国土交通省が東北中央自動車道（東根北～大石田村山間）の令和4年内開通を公表					
事業の進捗状況、残事業の内容等					
用地取得率100%、事業進捗率約70%					
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等					
早期の完成を目指し工事を推進していく。					
施設の構造や工法の変更等					
排水系統の見直し等により、総コストの縮減に努めていく。					
対応方針	事業継続				
対応方針決定の理由	事業の必要性、重要性は変化無く、費用対効果の投資効果も確保されているため。				

事業概要図

山形県

事業箇所



- ※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。
- ※ 総費用及び総便益の値は、表示桁数の関係で内訳の合計と一致しないことがある。